

平成30年1月吉日

企業関係者 各位

日本公認会計士協会東海会
会長 柴田 和範
国際業務委員会
委員長 氏原 亜由美

日本公認会計士協会東海会

“トランプ大統領就任後のメキシコ ～諸制度と最新情報～”に関する研修会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のことと御慶び申し上げます。

さて、日本公認会計士協会東海会では標記の研修会を開催することとなりました。

今回は、一般企業の皆様にも研修会をご提供することとなりましたので、ここにお知らせするとともに多くの皆様にご参加いただきたいと思っております。

参加ご希望の方は弊会事務局までお申し込みくださいますようお願い申し上げます。 敬具

記

期 日 平成30年2月8日(木) 18:00～19:30

会 場 ミッドランドホール「会議室B」 TEL 052-527-8500
名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア オフィスタワー5階
◎名古屋駅前ビル「ミッドランドスクエア・オフィスタワー5階」

参加料 無 料

テーマ 『トランプ大統領就任後のメキシコ ～メキシコの諸制度と最新情報～』

新興国の中でもメキシコはここ数年間で見ると世界で最も日系企業の進出が多かった国の一つで、ここ最近の進出ラッシュにより多くの日系企業がまだ設立して間もない状況ですが、地理的な遠さ、スペイン語圏ということもあって情報が乏しく、また現地教育水準や新興国特有の制度の不透明さから皆さん苦勞されています。

加えてこの進出ラッシュの大きな要因が世界有数の米国市場と接する地理的優位性、安価な労働力、そしてNAFTA(北米自由貿易協定)でしたが、とりわけメキシコに対して厳しい態度をとるトランプ政権誕生により昨年一年間はメキシコに進出企業(および進出を検討されている企業)にとっては辛抱の年となりました。そのトランプ政権も発足1年が過ぎ当選直後の混乱はずいぶん改善されましたが、依然としてNAFTAの離脱を含めた再交渉の行方が懸念されており、さらに今年はメキシコ大統領選挙を控え、引き続き辛抱の年になると言われています。

今回はメキシコの会計・税務・監査・その他特有制度の解説とともに進出企業の最新情報、とりわけトランプ政権発足後に各社で問題となっている点について具体的なケースを交えてご紹介いたします。

講 師 PwC あらた有限責任監査法人 公認会計士 牛丸 智詞 氏

2002年 中央青山監査法人 名古屋事務所入所。
2006年 PwCあらた有限責任監査法人 名古屋事務所入所
2011年8月より約3年間PwC中国・北京事務所に駐在
2015年12月より約2年間PwCメキシコに駐在

海外駐在中は、現地チームとともに現地日系企業に対して会計、税務、監査、ビジネスアドバイス、設立支援、J-SOX導入支援、IFRS支援等、現地チームが提供するサービス全般について従事。

国内では主に中部地区の自動車部品メーカーを中心に製造業の会計監査業務に従事。またJ-SOX導入、デューデリジェンス、IFRS導入支援業務等の経験を有する他、海外駐在経験を生かしメキシコを中心とした日系企業の各種海外展開のサポートを行っている。

以上

日本公認会計士協会東海会事務局宛 (FAX: 052-533-1113 / e-mail : toukai@jicpa.or.jp)

日本公認会計士協会東海会国際業務委員会主催研修会 参加申込書

平成30年2月8日(木)18:00～19:30 ミッドランドホール「会議室B」

御社名		
ご住所・ご連絡先	〒	
	TEL :	FAX :
	E-mail :	
ご参加予定者	所属・役職	(ふりがな) ご芳名

※本申込書によりお知らせいただいた情報は当研修会の運営に関わる事務のみに利用させていただきます。